

## 国際化学肥料ニュース (2010年10月)

### 肥料業界の2010年10月動態

\* IFA (国際肥料工業会) は加里の供給と需要について予測報告を発表した。

リーマンショックによる加里肥料の需要不振を経て、2010年から加里の需要が回復される。世界の加里需要量が地域別の予測が次の通りである。

北米地域：世界的気候不調による穀物収穫量の減少、価格の上昇を見込んで、アメリカとカナダの肥料施用量は歴史の最高水準まで回復する可能性がある。なお、北米の加里は最高年間需要量900万トンであった。

南米地域： ブラジルは加里の90%を輸入に依存している。2008年の輸入量は650万トン、2009年は340万トン、今年1~7月の7ヶ月ではすでに320万トンを輸入した。なお、7~10月はブラジルの加里輸入最盛期で、今年は加里の輸入量は600万トン超を予測している。

インド： 2008~2009年肥料年度の加里輸入量は567万トン、2009~2010年度は570万トンであった。今年9月までにすでに540万トンの輸入と入札を終え、2010~2011年度は590万トン以上の輸入量を予測している。

中国： 2007年加里輸入量は941万トンであったが、加里価格の高騰とリーマンショックの影響で2008年は500万トン、2009年は198万トンと急落した。今年1~7月は278万トンを輸入し、今年の輸入量は400万トンを超えると予測する。

従って、今年の世界加里需要量は2007~2008年の水準に回復し、供給量も4500万トンに達する可能性がある。因みに2009年の加里供給量は2500万トンであった。

また、IFAは2010~2014年の加里生産量と需要量を予測した結果が次の通りである。

生産量は2009年3710万トン (K2O計算、以下同)、2010年3800万トン、2014年4590万トン。需要量は2009年2480万トン、2010年2990万トン、2014年3580万トンであった。

\* IFAは加里資源の埋蔵量について最新のデータを公表した。現在確認された加里資源の埋蔵量は167億トン、実際採掘量の300年以上を耐える。加里資源は主にカナダ、ロシア等の旧ソ連地域、中東に存在し、この3地域は全体の80%以上、特にカナダは全体の53%の資源量を有する。

\* アメリカの民間組織「国際肥料発展センター」(IFDC)は「世界りん鉱石埋蔵量と資源量の現状」報告書を発表した。報告書によれば、確認済のりん鉱石埋蔵量は約600億トン、予測資源量は2900億トンに達し、100年以上の需要に満たすと結論した。現時点で、高品位りん鉱石の埋蔵量はアメリカ18億トン、中国37億トン、モロッコ510億トン、ロシア5億トン、ブラジル4億トンで計約600億トン、2008年の採掘量16

億トンで割ると、約 300~400 年の需要が賅うことができる。また、りん鉱石の予測資源量はアメリカ 490 億トン、中国 168 億トン、モロッコ 1700 億トン、ロシア 43 億トン、ブラジル 28 億トンと推定される。

しかし、アメリカ地質調査局 (USGS) の最新のデータによれば、世界のりん鉱石埋蔵量は 160 億トン、IFDC のデータの 1/3 しかない。IFDC の専門家は世界りん鉱石の埋蔵量が採掘コスト、採掘技術により異なるし、国によって正確の埋蔵量を公表しないこともあり、USGS のデータは最小値に過ぎないと批評した。

- \* 中国は 2010 年に新増加の DAP 生産能力 230 万トンであり、総生産能力が 1500 万トンに達する。今年 1~8 月、DAP 生産量 766 万トン、MAP 生産量 521 万トンであった。中国りん酸肥料協会によれば、今年りん酸系肥料生産量は 1450 万トン (純 P2O5 計算)、DAP だけでも 1150 万トン (実物) になると予測する。一方、輸出については、1~8 月、DAP226.4 万トン、MAP45.5 万トンであった。

#### 大手各社の営業業績

- \* アメリカの Mosaic 社は 2010 年 6~8 月の四半期業績を発表した。加里生産量が 140 万トン、販売量が 170 万トン、売上高 6.219 億ドル、粗利 2.567 億ドル、営業利益 2.18 億ドルであった。
- \* ベラルーシ加里 (BPC) の発表によれば、1~9 月加里の輸出量は 532.3 万トン、平均販売価格が 296.6 ドル/トン。なお、今年生産量は 725 万トンと予定する。

#### 10 月の大口契約と輸出 :

国際市場ではりん酸肥料の需要が旺盛で、各国が輸入のために頻繁に入札を行った。

- \* インド RCF は 10 月 8 日に 20 万トン DAP について入札を行ったが、応札者がいなかったため、10 月 15 日に再度入札を行った。応札者は不明。また、RCF は化成肥料用に 2 万トンの DAP/MAP を入札にかける。
- \* イラン ASSC は 10 月 18 日に 12 万トンの DAP/TSP の入札を行った。
- \* スリランカ農業省は 1.2 万トン TSP の入札を行う予定。
- \* モロッコ OCP 社は 10 月 DAP/MAP 生産量が 30 万トン、11 月も同量の生産を予定する。10 月に 3 万トン DAP/MAP をブラジルに輸出した。DAP の CFR 価格が 580 ドル/トン、MAP の CFR 価格が 600 ドル/トンであった。インドに 4 万トン DAP を輸出した。また、ブラジル、ヨーロッパ、インドとの間に 11 月の輸出について商談中。
- \* チュニジア GCT 社は 10 月に 2.5~3 万トン DAP をトルコに輸出した。現在、中国と 4~5 万トン DAP の輸出について商談中である。
- \* アメリカは 9 月にカナダに 3.4 万トン、ブラジルに 3.6 万トン MAP を輸出した。ま

た、インドにも 47.5 万トンのりん酸肥料を輸出した。なおインドとの間に 55 万トンの契約がある。

- \* インド今年の DAP 輸入量は 830 万トン、すでに 650 万トンを輸入済み。残りの 180 万トンについては、アメリカから 50 万トン、中国から 40 万トン、ロシアから 36 万トン、モロッコから 28 万トン、ヨルダンから 10 万トンを輸入する予定。来年も 800 万トン輸入する予定。
- \* 10 月に、ヨーロッパの Eurochem 社は 4 万トン DAP を輸出した。輸出先はカナダに 1 万トン、FOB560 ドル/トン。ドイツに 1 万トン、FOB565 ドル/トン。アメリカに 2 万トン、FOB560 ドル/トン。
- \* スリランカは 6 万トン尿素、2.4 万トン TSP、2.4 万トン塩化加里の入札を行う。締め切りは 11 月 12 日である。
- \* 中国の中化化学肥料社は 10 月 21 日に Potash と他のカナダ 2 社との間に加里肥料の輸入契約を締結したと発表した。契約によれば、この 3 社は 2011 年に 100 万トン、2012 年に 105 万トン、2013 年に 110 万トン加里肥料又は中国加里輸入量の 1/3 に相当する量を中国に輸出する。金額上限はそれぞれ 6 億ドル、7.3 億ドル、8.7 億ドルである。最大単価はそれぞれ 600 ドル/トン、695 ドル/トン、790 ドル/トンである。
- \* 黒海尿素関係：AFT 社は FOB323~325 ドル/トンでトルコに 3.8 万トン尿素、Trammo に 6000 トン尿素を輸出した。Gorlovka 社は 10 月の尿素が全部販売済み、11 月生産分は契約しない。市場様子をみてから価格を決める。OPZ 社は 10 月 11 日から尿素生産装置の定期点検に入り、10 日間の予定であるが、10 月に尿素を販売しない。
- \* インドの尿素入札結果が発表された。入札量は 106~125 万トン、最低 CFR 価格は 362.75 ドル/トン。中国産尿素が大部分を占め、平均 FOB 価格は 338 ドル/トンであった。また、10 月 26 日バングラディッシュの尿素入札発表は殆ど中国産尿素で決めた。

### 肥料プラント新規建設

- \* バングラディッシュ政府の発表によると、中国政府から 5.59 億ドルの援助を受け、国内に化学肥料工場の建設が計画された。生産能力 57.75 万トン/年、総投資 6.16 億ドル。現在、バングラディッシュの化学肥料生産量は年間 150 万トンで、需要量 280 万トンもあるため、不足量が輸入に依存している。
- \* アメリカニューメキシコ州環境署は、加里肥料メーカー Intrepid 社が所有する HB 加里鉱山の地面排水申請を認めた。連邦土地管理局の審査が 2011 年秋又は冬に最終結論を出す予定。

Intrepid 社は HP 加里鉱山の休止した古い井戸に飽和塩水を注入し、残存の加里鉱石を溶解させ、地面に吸い上げてから、沈殿池で太陽の熱を利用し、塩水を蒸発濃縮し、

塩化加里を沈殿回収する工法を採用する予定である。残水は地面に排水する。  
政府の許可が得られれば、12～18 ヶ月の建設を経て正式生産が開始する。投資額 1.2～1.3 億ドル、塩化加里年間生産量 15～20 万トン、採掘年限 28 年の予定。

- \* インド Oswal 化学肥料社はシリア国営りん酸肥料と鉱業社（Gecopham）との間にシリアでりん鉱石選鉱後の尾鉱を原料とするりん酸と MAP 生産工場を建設する覚書を締結した。Gecopham はシリアの東部に 2 ヶ所のりん鉱山を有し、生産能力は 330 万トンと 100 万トン/年。2008 年総生産量 322 万トン、輸出量 247 万トン、国内利用量は 60 万トンしかない。シリアはりん鉱石の有効利用のため、昨年 5 月にもカタールの SQHC 社との間にもりん酸肥料工場建設の契約を締結した。
- \* ヨルダンのアラビア加里社は加里プラントの拡張工事を完成した。工事は 2005 年から着工し、総投資約 5 億ドル。完成後、塩化加里の生産量は 200 万トンから 250 万トンに増加する。当社は世界第 8 位の加里メーカーであり、ヨルダンの加里資源を独占し、年間生産量は世界生産量の約 4%。
- \* ブラジルーロシア貿易委員会は、ロシア政府がブラジルに尿素工場建設のために 10 億ドルを投資することを発表した。原料はポリビアから輸入する天然ガスを使用するため、工場はポリビアに近いところに建設する予定。しかし、ブラジル肥料協会の関係者はポリビアの天然ガス価格が高く、採算が取れないのではないかと懸念する。昨年、中国からの投資者がブラジル地元会社と合弁で Parana 州に 30 万トンの尿素工場を建設する計画を立てたが、採算が取れないため、破談した過去がある。

#### その他

- \* 中国政府発展改革委員会は 10 月 19 日に化学肥料関税検討会を開き、来年の輸出関税について話し合いを行ったが、結論が出なかった。10 月 29 日に発展改革委員会と財政部（財務省）と再度共同会議を開き、12 月から輸出関税を変更することが確認された。また、10 月に開催された第 15 回全国化学肥料市場検討会にも来年の輸出関税が変更されることが確認された。新しい輸出関税の詳細内容はまだ判明されていないが、①需要期と非需要期の区分を撤廃し、年間通して 30～40%の輸出関税を適用すること、重過石、過石等は今まで通り年間 7%輸出関税を維持する。②需要期と非需要期の区分を撤廃し、肥料非需要期、肥料準備期と需要期の 2 つ関税時期に分け、非需要期の適用期間を短縮し、輸出関税の徴収基準価格を引き下げることにより輸出量を制限する案が噂された。
- \* ベトナム「税関新聞」10 月 17 日の報道によると、10 月 11 日ベトナム財務省がりん鉱

石の輸出関税を現行の 7%から 10%または 15%に引き上げることを決定した。11 月 25 日から実施する。

- \* 中国政府国土資源省地質調査局は 12 年間かかった国土資源調査で、中国に加里鉱石産地 8 ヶ所を発見し、総埋蔵量 4.68 億トンと発表した。
- \* ベトナム「ベトナム経済タイムズ」10 月 21 日の報道によると、ベトナム農業と農村発展省は現在国産尿素の年間生産量が約 90 万トン、国内需要量が 200 万トン、不足量は殆ど中国から輸入している。但し、建設中の尿素工場がすでに 5 ヶ所で、2015 年に尿素生産量は現在 3.5 倍の 300 万トンを超え、過剰になる可能性があるとして過熱の増設ブームに警告した。
- \* タイ商業省国内貿易庁長官が 10 月 1 日から化学肥料の価格調査を開始し、規制価格を超えた生産業者と販売業者を摘発すると発表した。規制価格は尿素 11000 バーツ/トン、硫安 6000 バーツ/トン、15-15-15 化成肥料 14000 バーツ/トンと決められ、違反者は最高 14 万バーツの罰金と懲役 7 年の刑に罰する。
- \* ロシア通信社によると、ロシア第一副首相が 2013 年から国内塩化加里の価格統制を完全撤廃すると発表した。今までは輸出価格に比べ、国内価格が統制により低く抑えられているため、塩化加里メーカーが非常に不満である。2011～2012 年は経過時期として国内塩化加里の価格が輸出最低価格を基準に計算し、国内肥料メーカーが塩化加里を購入する際に一定の補助金を受けることにする。
- \* カナダ工業省長官 Tony Clement は 11 月 3 日に、カナダ政府が BHP ビリトンの Potash Corp 社買収案に同意しないと声明した。理由は買収により、年間 20 億カナダドルの税収が失うことにより、カナダに不利益を及ぼすことである。但し、これは最終決定ではなく、BHP ビリトンが買収案を修正することが可能である。